

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



〇概況

- ◆ FRBは0.25%の利上げを決定し、政策金利の上限を5.50%とした。前回（6月）は10会合ぶりに利上げを見送っていたが、大方の予想通り、今回は利上げを再開した。決定は全会一致。
 - ◆パウエル議長は次回（9月）はデータ次第で利上げの可能性も据え置きの可能性もあり、現時点で何も決定していないと発言。
 - ◆市場では次回の利上げ見送りが意識され、ドル安・米金利低下。
- ✓ FRBは7/25-26のFOMC（連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFF金利の誘導目標を0.25%引き上げ5.25～5.50%とした（全会一致）。前回（6月）は10会合ぶりに利上げを見送っていたが、今回は大方の予想通り、利上げを再開した。政策金利は22年ぶりの高水準となった。
 - ✓右図の通り、6月会合で示されたドットチャート（政策金利見通し）では既に利上げ終了を予想していたメンバーが2名いたが、今回の利上げは全会一致の決定となった（全てのメンバーが投票権を持つわけではない）。
 - ✓パウエル議長は記者会見で、次回（9月）はデータ次第で利上げの可能性も据え置きの可能性もあると説明し、1会合毎に利上げをする方針かとの質問に対しては「現時点ではなにも決定していない」と回答した。年内の利下げの可能性は明確に否定した。
 - ✓経済動向については、成長の顕著な減速が年内に始まると予想しているが、最近の経済に見られる強靱性から、もはやリセッション（景気後退）は見込んでいないと述べた。一方、インフレ率が2%まで鈍化するのには2025年頃になるとも語った。
 - ✓市場では次回（9月）会合での利上げ見送りが意識され、ドル安・米長期金利低下の反応となった。現在、年内にもう一度利上げがあるかどうかの市場の織り込みは五分五分程度となっている。次回会合までに雇用統計とCPI（消費者物価指数）の発表が2回ずつ予定されており、引き続きデータ次第で揺れ動く展開が予想される。また、次回会合では経済・物価・政策金利見通しの更新も予定されている。6月以降の情勢変化により、利上げ到達点やロングラン金利（中立金利≒利下げ到達点）にどのような変化が生じているかも重要であり、今後のFRB高官発言にも要注目だろう。

FOMCメンバーの景気・物価見通し（6月会合）

【出所】FRB

	FRB見通し（中央値）			
	2023	2024	2025	長期
実質GDP	1.0↑	1.1↓	1.8↓	1.8
2023年3月時点	0.4	1.2	1.9	1.8
失業率	4.1↓	4.5↓	4.5↓	4.0
2023年3月時点	4.5	4.6	4.6	4.0
コアPCEインフレ率	3.9↑	2.6	2.2↑	2.0
2023年3月時点	3.6	2.6	2.1	2.0

※PCE:Personal Consumption Expenditure、個人消費支出

FOMCメンバーの政策金利見通し（6月会合）

※数字は人数、黄色は中央値

	2023		2024		2025		Longer run	
	3月	6月	3月	6月	3月	6月	3月	6月
6.375								
6.250								
6.125		1						
6.000								
5.875	1	2		1				
5.750								
5.625	3	9	1	2	1	1		
5.500								
5.375	3	4	1					
5.250								
5.125	10	2	2	3				
5.000								
4.875	1			2		1		
4.750								
4.625			3	2		1		
4.500								
4.375			2	6	1			
4.250								
4.125			5	1	1	2		
4.000								
3.875								
3.750			2		1	1		
3.625								
3.500			1	1	2	2	1	1
3.375			1		2	3		
3.250							1	1
3.125					4	3		
3.000							1	1
2.875					2	1		
2.750								2
2.625							1	2
2.500					4	2	8	7
2.375							2	3
2.250					1	1	3	
2.125								
平均値	5.278	5.537	4.403	4.750	3.322	3.583	2.588	2.662
中央値	5.125	5.625	4.125	4.625	3.125	3.375	2.500	2.500

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。